



この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2022年7月24日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

京大野球部 青年監督の闘い

24日(日) = 1、3面



迫る

関西学生野球春季リーグで京都大が注目されました。難関の入試を突破しなければならないこともあり、最下位が「定位置」とされてきました。しかし、春季リーグでは5位となり、最下位を脱しました。ベストナインでは過去最多の3人が選

ばれました。京大躍進には、近田怜王(れお)監督=写真=の存在がありました。他校の監督は経験豊富なOBばかりですが、近田さんは30代前半という若さ。また、甲子園でエースとして活躍し、ソフトバンクに入団しましたが、1

軍での登板は果たせませんでした。その後、JRW西日本に入って社会人野球をし、駅員や車掌としても勤務しました。さまざまな苦労を重ねた経験を野球指導にどう生かしているのでしょうか。近田さんの野球人生に迫ります。

論点 数学はなぜ嫌われるのか

29日(金) = オピニオン面



国会議員が5月、「三角関数よりも金融経済を学ぶべきではないか」などとツイッターに書き込んだことがきっかけとなり、三角関数を学ぶ意義などについて

インターネット上で議論を呼びました。これまでも、嫌われ者の数学を象徴するテーマとして「三角関数不要論」はたびたび登場してきました。数学や三

角関数はなぜ嫌われるのでしょうか。学ぶ意義はどこにあるのでしょうか。数学者ら3人に語ってもらいました。

特集 ワイド

秦郁彦さんの安倍・岸・佐藤論

27日(水) = 夕刊特集ワイド



銃撃事件で亡くなった安倍晋三元首相は、「兄弟宰相」といわれた岸信介と佐藤栄作が祖父と大叔父、そして自民党実力者だった安倍晋太郎

元外相を父に持つ政治家一族の出身として知られてきました。メディアでは「安倍政治」の評価を巡る報道が盛んですが、保守派論客として知

られる現代史家の秦郁彦さん(89)=写真=にインタビューし、山口県を地盤とした一族に流れる政治思想とは何だったのかを探りました。

ヒマワリの種が山積みになった農場。ウクライナ中部ザリ



ウクライナは世界有数の穀物輸出国ですが、ロシアに侵攻された影響を受け、輸出が大幅に滞っています。そのため世界的に穀物価格が上昇し、アフリカなどの貧困国では深刻な食料不足が起きています。記者が首都キーウから160

ウクライナ穀物生産の現場

26日(火) = 1、3面

キにあるザリフ村を訪れると、倉庫の天井まで積み上がった大量の穀物を目にしました。ウクライナの生産現場で何が起きていて、海外の台所事情にどのような影響を及ぼしているのかを探りました。

竹橋の窓辺から

編集後記

都市対抗野球が開幕し、先日ドームで試合を初観戦しました。試合の迫力もさることながら、応援の盛り上がりも最高潮で、お祭りみたいな雰囲気。そんな中、補強選手を応援に来ていた予選敗退チームの姿をバックネット裏で見かけました。チームメイトが安打を放つとわあっと喜ぶ姿に絆を感じ、じーんと来ました。ライブ中継していますので、QRからぜひご覧ください！(齋藤有香)



毎日新聞

150 2022年2月21日 毎日新聞創刊150年